

# 『工場大ずかん つくりかたしり隊がいく！』



うへたに<sup>ふうふ</sup>夫婦／作 <sup>かいせいしゃ</sup>偕成社

えんぴつ、<sup>は</sup>歯ブラシ、10円玉、<sup>ぎゅうにゅう</sup>牛乳、ビー玉、  
絵本など、9つのものができるまでを、<sup>きかい</sup>機械や工場の  
イラストで<sup>しょうかい</sup>紹介する。



# 『わらって、考える！』

## 『イグ・ノーベル賞ずかん』

<sup>ふるさわ きよし かんしゅう</sup>古澤 輝由／監修 <sup>しゅっぱん</sup>ほるぷ出版



<sup>ひとびと わら</sup>人々を笑わせ、そして考えさせる<sup>けんきゅう</sup>研究におくられる、  
イグ・ノーベル賞。「オタマジャクシの味を<sup>あじ</sup>食べくらべ  
てみた<sup>けんきゅう</sup>研究」ほか、おもしろい39の<sup>けんきゅう</sup>研究・<sup>はつめい</sup>発明をわ  
かりやすく<sup>かいせつ</sup>解説。

# 👑 名作本だな 👑

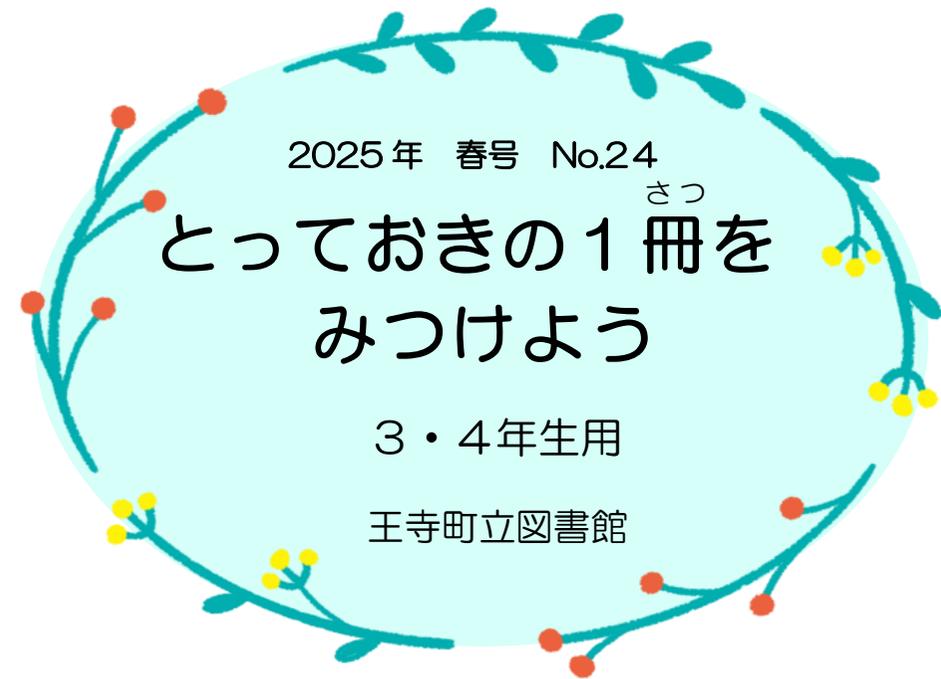
## 『モモ』

<sup>ぶん</sup>ミハヤエル・エンデ／文 <sup>こうぶんしゃ</sup>光文社



ある大きな町のはずれ、こわれかけた野外  
<sup>げきじょう</sup>劇場に、モモは<sup>す</sup>住んでいました。モモは、ほかの  
人の話をよく聞くのが得意。町の人たち、子ども  
たち、<sup>どうぶつ</sup>動物たち、木のあいだを通りぬける風の話  
にも<sup>かたむ</sup>耳を傾け…。

<sup>ほん</sup>絵本版



2025年 春号 No.24

とっておきの1冊を  
みつけよう

3・4年生用

王寺町立図書館

ぴっく  
あっぷい!

## 『動物の今と昔ずかん』

くらべてみたらすごかった!』

<sup>つちや けん ちよ</sup>土屋 健／著 <sup>しゅっぱん</sup>ほるぷ出版



イルカは<sup>りく</sup>陸を歩いてい  
た!? ヘビには小さなあし  
があった!? 今生きている  
<sup>どうぶつ</sup>動物の<sup>しやしん</sup>写真と、<sup>かせき</sup>化石をもとに  
<sup>ふくげん</sup>復元した「昔の動物」のイラ  
ストをならべて、ちがいを学  
べるずかん。



# 楽しい おはなしが いっぱい

## 『まほうのマーメイド』

もいち くみこ 茂市 久美子 / 作 あかね書房



空き家になっていた田舎のおばあさんの家でくらすことになった悠一は、そこで、「まほうのマーメイド」のレシピに出会い…。

## 『最後のシロクマ』

たてない あきこ 藤内 明子 / 作 金の星社



オセロでそうたに負けたふたばが、1個だけの白い石を「絶滅寸前のシロクマみたい」と言うと、「明日、図書館に来て」と、そうたに頼まれ…。



## 『森のちいさな三姉妹 森ネコさんのおかしをどうぞ』

くずのき あきこ 楠 章子 / 作 がっけん Gakken



森に住むこびとのココは、町から来たネコさんと出会いました。ネコさんはおかしのお店を開こうとしますが、道具も材料もありません。そこで、ココはあるアイデアを思いつきますが…。

【シリーズ 2巻】

## 『クンペイの探偵ノート 消えたさかだち博士』

ひるた みつこ 昼田 弥子 / 作 あかね書房



クンペイは、気になることがあると調べずにはいられない小4男子。小学校で銅像が突然消え、ひとりで調べていたら、探偵と名乗る怪しいおじさんがあらわれ…。

【シリーズ 2巻】

## 『岸辺のヤービ』

なしき かほ ちよ 梨木 香歩 / 著 福音館書店



ある晴れた夏の日、わたしが岸部で出会ったのはハリネズミのような、クワイ族の小さな男子ヤービでした。そして、ヤービから、いろいろなお話をしてもらうことになって…。



【シリーズ 3巻】

## 『ペット探偵事件ノート 消えたまいごねこをさがせ』

あかはね 赤羽 じゅんこ / 作 こうだんしゃ 講談社



幼なじみの弥生に、「いなくなったねこのソックスを探してほしい」と頼まれた宙。ペット探偵をしている源おじさんは「ペット探偵七つ道具を使え」と言うけれど…。

図書館にはこのリストで紹介した本の他にもたくさんの楽しい本があります！